MO ディスクドライブ

MOU-640RH

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  C:ハードディスクドライブ
  D:CD-ROMドライブ
- 本書では、製品名を「MOU」と表記しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚡感電注意)が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。
また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり、飲み込んだりすると大変危険です。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

本製品は内部で半導体レーザーを使用しています。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

注意

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべて他のメディア（MOディスク、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。

禁止

MOディスクを入れたまま移動しないでください。

動作中やMOディスクを入れた状態で本製品を移動しないでください。

MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。

禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

強制

MOディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・誤った使い方をしたとき
- ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- ・故障、修理などのとき
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにした後、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- ・天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害は、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
→故障の原因となります。

・振動が発生するところ
→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
→故障や変形の原因となります。

・漏電または漏水の危険があるところ
→故障や感電の原因となります。

MOディスクは次の点に注意して大切にお使いください。

・MOディスクに、直接触れたりしないでください。
→MOディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れたり、傷がつくとデータが読めなくなります。

・MOディスクを分解しないでください。

・衝撃を与えないでください。

・強い磁界が発生するところに置いたり、近づけたりしないでください。
→データに悪影響をおよぼす場合があります。

・ほこりなどにさらさないでください。

・直射日光を当てないでください。

・MOディスクのクリーニングを行ってください。
→MOディスクの表面に、ほこりやたばこの煙などが付着し、MOディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のMOディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。

・MOディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
→ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でMOドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剥がれ、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

市販のレンズクリーナーを使用しないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、レンズ部に損傷を与える恐れがあります。レンズ部はほこりが入らない構造になっていますので、レンズのクリーニングは必要ありません。

アクセスランプが点滅している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

MOUを使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● USBコネクタ（シリーズA）に接続可能
パソコンやUSBハブのUSBコネクタ（シリーズA）に接続できます。
※ USBコネクタが装備されていないDOS/V機やPC98-NXシリーズを使用している場合は、弊社製USBボード（別売）を使用してください。

● USBハブ機能を内蔵
本製品はUSBハブ機能を内蔵し、背面にHUBポート（USBコネクタ シリーズA）を搭載しています。USBハブやUSB機器を接続できます。

● ダイレクトオーバーライト方式（DOW）に対応
オーバーライト（OW）に対応したMOディスクでダイレクトオーバーライト方式による高速書き込みが可能です。

● 各種容量のMOディスクに対応
128/230/540/640MBのMOディスクに対応しています。

各部の名称

● 前面

パワーランプ
MOUが動作可能なときに点灯します。
※ MOUには電源スイッチはありません。USBから電源が供給されると電源がONになります。ただし、MOUは必ず付属のACアダプタを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、MOUは使用できません。

イジェクトボタン

アクセスランプ（緑）
MOディスクにアクセスしている時に点滅します。
※ Macintoshの場合、MOUにMOディスクを挿入していない場合でも、メディアチェックのために周期的にアクセスランプが点滅します。

イジェクトホール

ディスク挿入口

● 背面

イジェクトピンホルダ
イジェクトピンを差し込んで保管します。

PCポート（USBコネクタ シリーズB）
パソコンやUSBハブのUSBコネクタ（シリーズA）に接続します。

DCコネクタ

HUBポート（USBコネクタシリーズA）
他のUSB機器やUSBハブを接続できます。

付属品の確認は別冊の「はじめにお読みください」を参照してください。

2 セットアップ

MOU のセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

MOU のセットアップ手順は次のとおりです。

＜Windows搭載パソコン＞

メモ 詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

MOUのDCコネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のCD-ROM「MOU-RHシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットする(*)

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する

＜Macintosh＞

MOUのDCコネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

ドライバをインストールする【P10】

▼

MOUにUSBケーブルを接続する

▼

パソコンにUSBケーブルを接続する

* CD-ROMドライブのないパソコンを使用しているときは、付属のフロッピーディスク「MOU-RHシリーズユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスク内の「EASYSETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

次のページへ続く

● PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンストモード」になっていることを確認してください。
アドバンストモードになっていないと、MOUのドライバをインストールできません。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● Windows98(Second Editionを除く)を使用しているときは、次の確認を行ってください。
① [マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
②メニューが表示されたら、[プロパティ(R)]をクリックします。
③ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
④ [ユニバーサルシリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。

[NEC PCI to USB Open Host Controller]と表示されている場合は、Windows98サービスパック1をインストールする必要があります。その他のデバイス名が表示されている場合は、サービスパックのインストールは不要です。

※ Windows98サービスパック1は、マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/)からダウンロードできます。

Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップを行います。詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ
- MOUのユーティリティがインストールされると、[プログラム]フォルダに[MOユーティリティ]フォルダが追加されます。
  ※「MOコピー」と「ダストシュート」は、WindowsMe/98用のユーティリティです。Windows2000ではインストールされません。

- MOUのドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ]に次のデバイスが追加されます。

WindowsMe/98 ...... [ユニバーサル シリアル バス コントローラ]内に[MELCO USB/SCSI Bridge Adapter]と[凡用USBハブ]が追加されます。
[SCSIコントローラ]内に[MELCO USB/SCSI Mass Storage Controller]が追加されます。
[ディスクドライブ]に[KONICA OMD -7064]が追加されます。

Windows2000 .... [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]内に[MELCO USB/SCSI Bridge Adapter]と[凡用USBハブ]が追加されます。
[ディスクドライブ]に[KONICA OMD -7064 USB Device]が追加されます。

※[デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。

WindowsMe/98 .... [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

Windows2000 ..... [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

Macintoshでのセットアップ手順

ドライバ(MOUを使用するために必要なソフトウェア)をインストールし、MOUを接続します。

⚠注意
- **MOUをパソコンに接続する前に、必ず付属のCD-ROM「MOU-RHシリーズユーティリティCD」でドライバをインストールしてください。**
- **インストールの前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。**
- **別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめMOUに縦置き用スタンド(またはゴム足)、イルミネーションパーツ、ACアダプタを取り付けておいてください。**
- **Power Mac G4 Cubeに付属しているUSBスピーカは、MOUのHUBポートには接続しないでください。パソコン本体のUSBコネクタに接続してください。**

1 **パソコンの電源スイッチをONにします。**

2 **MOU付属のCD-ROM「MOU-RHシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。**

3

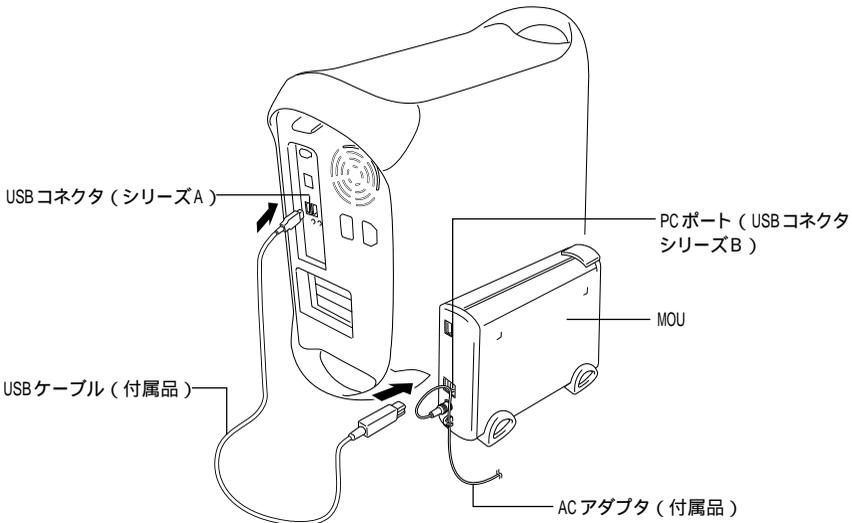
[MOU-RHシリーズインストーラ]アイコンをダブルクリックします。

次のページへ続く

以上でMOUのドライバのインストールは完了です。再起動後、次の手順でMOUをパソコンに接続します。

7 付属のUSBケーブルをMOUのPCポート（USBコネクタ シリーズB）に接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

8 パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。

以上でドライバのインストールとMOUの接続は完了です。

3 MOUの使いかた

使用時の注意

Windows 搭載パソコンと Macintosh に共通の注意

● PC連動電源機能について
- MOUには電源スイッチはありません。USBから電源が供給されると電源がONになります。
- MOUは必ず付属のACアダプタを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、MOUは使用できません。
- パソコンの電源スイッチをOFFにしてからMOUのパワーランプが消えるまでに、時間がかかることがあります。
- ACアダプタ付きのUSBハブにMOUを接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしてもMOUのパワーランプが消えない場合があります。そのような場合はUSBハブの電源をOFFにするか、USBハブからMOUを取り外してください。
- 複数のUSB機器と併用したいときは、弊社製USBハブUHB-S7/S4（別売）などを使用してください。

●ハブ機能について
MOUはUSBハブを内蔵し、HUBポート（USBコネクタシリーズA）を搭載しています。

⚠注意
- MOUに接続したUSB機器やUSBハブは、MOUの電源がONになっていないと使用できません。
- 複数のUSBハブをカスケード接続すれば、最大127台まで（USBハブを含む）USB機器を接続できます。カスケードの段数は最大5段です。
- 本製品はUSBハブ機能を搭載していますので、カスケード接続をする場合は本製品もUSBハブとして数えてください。

● MOディスクのフォーマット（初期化）について
MOディスクは、使用する前にフォーマットする必要があります。【P17】

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● MOUはホットプラグに対応しています。
MOUやパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。

⚠注意 MOディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点滅しているとき）は、絶対にUSB機器（MOU含む）からUSBケーブルを抜き差ししないでください。MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

● USBケーブルを抜くときは
USBケーブルを抜く前にMOUから必ずMOディスクを取り出してください。

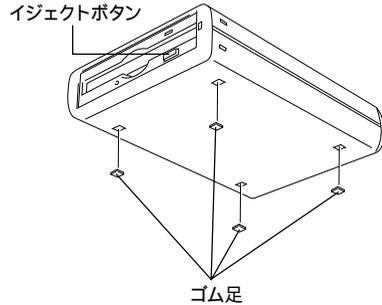
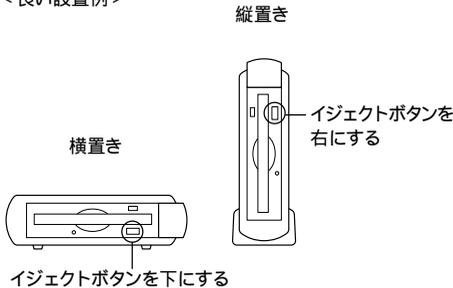
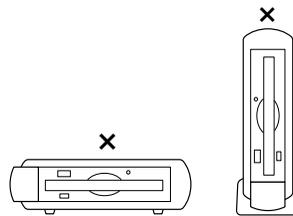
● MOUからOSを起動（ブート）することはできません。

● パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。
サスペンド機能、レジューム機能、スリープ機能などは使用しないでください。MOディスクが認識できなくなることがあります。また、パソコン本体にMOUを接続していると、省電力モードに移行できないことがあります。

● MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。
MOU内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。
取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P29】

● MOUの接続直後にアクセスランプが点滅している間は、パソコンからアクセスしないでください。
MOUの準備ができていないため、アクセスエラーが発生します。

● MOUを横置きにするときは、付属のゴム足(4個)をMOUの底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意 ・ゴム足を付けるとスタンドが取り付けられなくなるため、MOUを縦置きできなくなります。
・イジェクトボタンが下側になるように、ゴム足を取り付けてください。

● MOUは次のように設置してください(本書では、MOUを縦置きにして使用する例を説明しています)。

⚠注意 動作中やMOディスクを入れた状態でMOUを移動させたり、設置方向を変えないでください。MOUやMOディスクの破損の原因となります。

Macintoshだけに関する注意

● DOSフォーマットのMOディスクについて
次の場合、DOSフォーマットのMOディスクをMOUにセットすると、Mac OSに標準に付属しているフォーマッタが起動します。その場合は、[取り出し]ボタンをクリックしてMOディスクを取り出してください。

・640MBのMOディスクを挿入した
DOSフォーマットの640MBのMOディスクは、Mac OSでは使用できません。
※DOSフォーマットのMOディスクの場合は、128MB/230MB/540MBが使用できます。

・File Exchangeが無効になっている
File Exchangeの設定が無効になっていると、DOSフォーマットのMOディスクは使用できません。
※File Exchangeは[アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[File Exchange]で設定できます。DOSフォーマットのMOディスクを使用するには、[File Exchange]の[PC Exchange]タブ内のチェックボックスが3箇所すべてチェックされている必要があります。

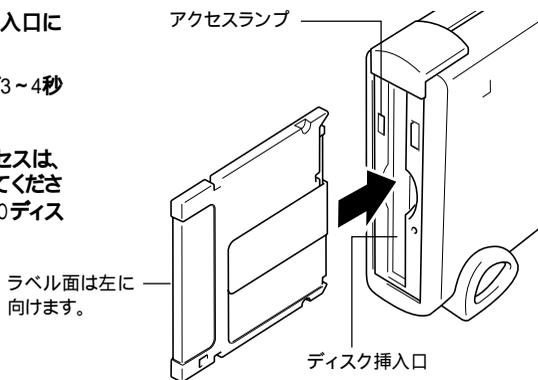
● MacOSを終了するときは
お使いのパソコンによっては、MacOSを終了してもMOディスクが自動的に排出されないことがあります。MacOSを終了させる前にMOUから必ずMOディスクを取り出してください。

● MOUにMOディスクを挿入していない場合でも、メディアチェックのために周期的にアクセスランプが点滅します。

MOディスクの挿入

MOディスクのラベル面を左に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、アクセスランプ(緑色)が3～4秒間点灯します。

⚠注意 パソコンからMOディスクへのアクセスは、アクセスランプが消えてから行ってください。アクセスランプの点滅中は、MOディスクにアクセスできません。

MOディスクの取り出し

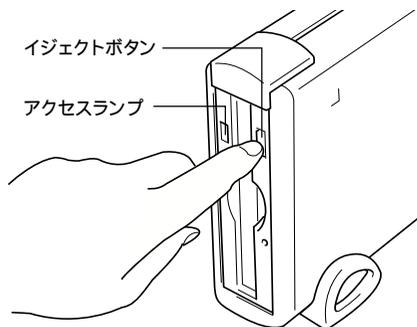
＜Windows搭載パソコンの場合＞

MOUのアクセスランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

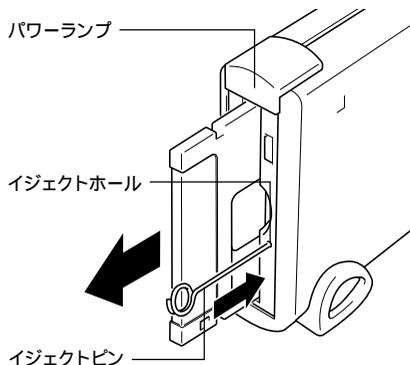
＜Macintoshの場合＞

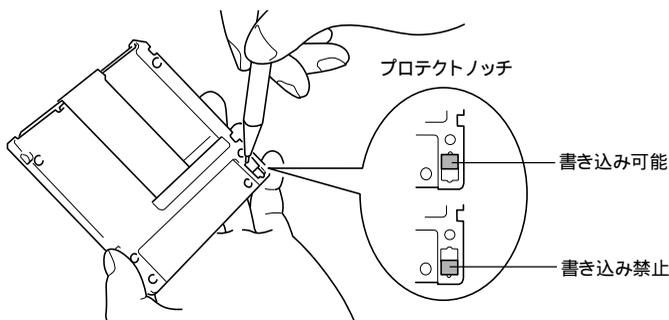
デスクトップにあるMOディスクのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップすれば、MOディスクが排出されます。MOUのイジェクトボタンは通常使用しません。

MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

⚠注意
- **MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点滅しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。**
- **パワーランプが点灯していないときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは排出されません。パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、MOUからMOディスクを取り出しておいてください。MOディスクを取り出せないときは、「MOディスクが取り出せないとき」【P15】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。**

MOディスクが取り出せないとき

パワーランプが消灯しているときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクを排出できません。その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

⚠注意 この操作は、必ずパソコン本体の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

MOディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。

MOUの取り外しかた

パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順でMOUを取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

注意　MOUを取り出す前に、必ずMOUからMOディスクを取り出してください。【P14「MOディスクの取り出し」】

WindowsMe/98、Macintosh

MOUからMOディスクを取り出した後、パソコンからMOUを取り外します。

メモ　WindowsMe/98で使用する場合、タスクバーのステータス表示領域に表示されるアイコン は、取り外しには使用しません。

Windows2000

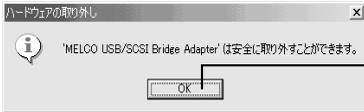
注意　必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにMOUを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1. **MOUからMOディスクを取り出します。**

2. **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。**

3. **メニューが表示されたら、[MELCO USB/SCSI Bridge Adapter - ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。**

   下線部には、MOUに割り当てられたドライブ名が表示されます。

4.

5. **MOUを取り外します。**

4 MOディスクのフォーマット

MOUにセットしたMOディスクをフォーマットする方法を説明します。

※ フォーマットとは、MOディスクなどの記憶メディアをパソコンで使用できるように処理（初期化）することです。

フォーマット時の注意

他のアプリケーション（エクスプローラなど）が起動しているときは終了してください。

- MOディスクに記載されている容量は、1MB＝1,000²byteで計算されています。
  ただし、Windows上でフォーマットするときやプロパティでMOディスクの容量を確認するときは、1MB＝1,024²byteで計算されるため、表示される容量が異なります。
- MOディスクによっては、フォーマットに数十分かかるものがあります。
  MOUの動作が停止しているように思われても、アクセスランプが点灯または点滅している間はフォーマットしています。そのままフォーマットが終わるまで待ってください。

Windows搭載パソコンでのフォーマット

Windowsには標準でフォーマッタが添付されていますが、異なるOS間でMOディスクを共有して使用する場合に互換性による問題が生じることがあります。MOディスクをフォーマットするときは、インストールされたフォーマッタ「MOフォーマット」を使用してください。

MOフォーマットに関する注意

- MOフォーマットを使用すると、MOディスク内のデータは全て消去されます。大切なデータを必ずバックアップしてからフォーマットしてください。
- MOフォーマットではパーティションを作成できません。また、リムーバブルメディア以外（ハードディスクなど）のフォーマットもできません。
- 本製品以外でのMOフォーマットの使用は、弊社では保証しておりません。
- Windows2000でNTFSフォーマットしたMOディスクは、Windows2000以外のOSでは使用しないでください。
- Windows2000でNTFS形式でフォーマットしたMOディスクを書き込み禁止にした場合、書き込みだけでなく読み出しもできません。
- MOフォーマットでは、NTFS形式のフォーマットはできません。
- NTFSフォーマットのMOディスクをWindows2000で使用すると、そのMOディスクはWindows2000でしか読み書きできなくなります。
- FAT32フォーマットされたMOディスクは、Windows Me、Windows98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）、Windows2000でのみ使用できます。
- MOフォーマットの起動中は、エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見ないでください。
  見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOフォーマットを終了し、再度エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見てください。
- MOフォーマットでフォーマットされたMOディスクをWindows2000のフォーマット機能で再フォーマットする場合は、いったんNTFSでフォーマットし、その後、希望のファイルフォーマットに変更してください。

MO フォーマットの起動と終了

・起動方法 ..... [スタート] − [プログラム(P)] − [MO ユーティリティ] − [MOフォーマット]を選択してください。

・終了方法 ..... MOフォーマットの [閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。

フォーマット手順

次の手順でMO ディスクをフォーマットします。

⚠注意
- フォーマットすると、MOディスク内のデータはすべて消去されます。フォーマットする前に、消去してもよいデータか必ず確認してください。
- フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチを一切操作しないでください。
- MOフォーマットを起動する前に、MOUをパソコンに接続しておいてください。
- 誤って他のMOドライブを操作してしまわないために、MOドライブは1台だけ接続することをおすすめします。

1 フォーマットしたいMO ディスクをMOU に挿入し、MO フォーマットを起動します。
【P18「MO フォーマットの起動と終了」】

2

ここをクリックして ［バージョン情報(A)］を選択すると、MOフォーマットのバージョン情報が表示されます。

① フォーマットするMOドライブ（MOU）を選択します。

② フォーマット方法を選択します。

③ フォーマット形式を選択します。

④ 必要に応じてボリュームラベルを入力します（最大半角英字 11 文字）。

⑤ ［開始(S)］ ボタンをクリックします。

・ドライブ情報 ....

・フォーマット方法 .... [標準]： 論理フォーマットのみ行います（通常はこちらを選択します）。
[完全]： 物理フォーマットを行い、その後に論理フォーマットを行います。

・フォーマット形式 .... [FAT16]と[FAT32]が選択できます。
※ FAT32 フォーマットされたMO ディスクは、WindowsMe、Windows98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）、Windows2000でのみ使用できます。

・［ディスクチェック］ボタン ..... 表示内容を更新します。MOフォーマットを起動した後にMOディスクを挿入した場合や、MOディスクを入れ替えた場合にクリックします。

次のページへ続く

フォーマット方法で[完全]を選択している場合

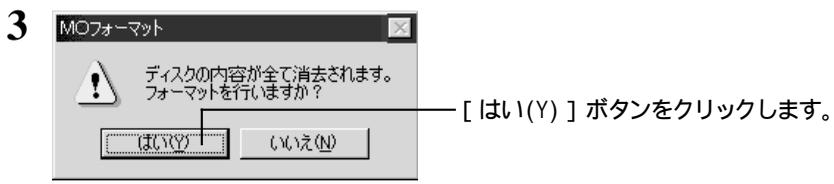
「物理フォーマットは数分から数十分を要します。(以下略)」というメッセージが表示されます。物理フォーマットしてもよければ、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

物理フォーマット中は経過時間が表示されます。

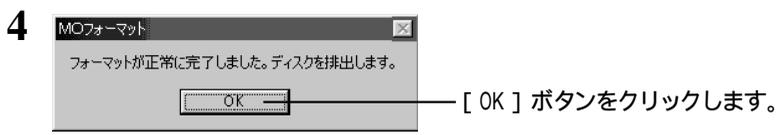
⚠注意 ・物理フォーマット中に[強制終了(X)]ボタンをクリックすると、物理フォーマットは中断されますが、Windowsの動作が不安定になる可能性があります。必ずパソコンを再起動してください。

・お使いの環境によっては、経過時間の表示が進まないことがあります。MOUのアクセスランプが点灯していれば物理フォーマットは動作していますので、完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

3

[はい(Y)] ボタンをクリックします。

⚠注意 フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチ、USBケーブル、ACアダプタの操作を一切行わないでください。

4

[OK] ボタンをクリックします。

MOディスクが排出されます。

以上でフォーマットは完了です。

Macintoshでのフォーマット

フォーマットの種類によって操作方法が異なります。目的にあった方法でフォーマットしてください。

- MOディスク内のデータを消去する場合 .... 【P19「通常のフォーマット」】
- DOSフォーマットのMOディスクをMac OSフォーマットで使用したい場合 ...... 【P20「物理フォーマット」】
- MOディスクを出荷時の状態に戻したい場合 .... 【P20「物理フォーマット」】

⚠注意 ・フォーマットすると、MOディスク内のデータはすべて消去されます。フォーマットする前に、消去してもよいデータか確認してください。

・フォーマット中はマウスやキーボード、パワーボタン、リセットスイッチ、USBケーブル、ACアダプタを一切操作しないでください。

通常のフォーマット

Macintosh付属のフォーマッタでフォーマットします。

1 フォーマットしたいMOディスクをMOUに挿入します。

未フォーマットのMOディスクや、640MBのDOSフォーマットのMOディスクを挿入した場合は、フォーマッタが自動的に起動します。P20の手順3以降に従って操作してください。

次のページへ続く

2　MOディスクのアイコンが反転表示になっていることを確認し、[特別] − [ディスクの初期化...] を選択します。

3

① 必要に応じてMOディスクの名前を入力します。

② フォーマット形式を選択します。(*)

③ ［初期化］ ボタンをクリックします。

MOディスクがフォーマットされます。

MOディスクによっては、自動的に物理フォーマットされることがあります。その場合は、フォーマットに10〜20分かかります。

* 選択可能なフォーマット形式は次のとおりです。

Mac OS標準 .... Mac OS8.1よりも前のシステムでも使用できます。
（ボリュームラベル：最大半角英数字27文字/全角13文字まで）

Mac OS拡張 .... Mac OS8.1よりも前のシステムでは使用できません。
（ボリュームラベル：最大半角英数字27文字/全角13文字まで）

DOS .... WindowsやDOSでも読み出せるフォーマット形式です。128/230/540MBのMOディスクに使用します。 640MBのMOディスクはDOS形式でフォーマットしてもWindowsで読み出すことはできません。
（ボリュームラベル：最大半角英数字11文字/全角5文字まで）
誤ってDOS形式でフォーマットしてしまったときは、「MO Initializer」で物理フォーマットしてください。【P20「物理フォーマット」】

Universal Disk Format .. 使用しないでください。
（640MBのMOディスク挿入時に選択肢として表示されます）

以上でフォーマットは完了です。

物理フォーマット

インストールされたフォーマッタ「MO Initializer」でフォーマットします。

1　ハードディスク内の [MELCO MO Utility] フォルダ **をダブルクリックします。**

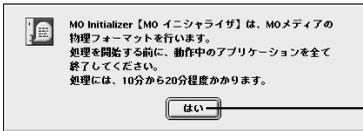
2

① フォーマットしたいMOディスクをMOUに挿入します。

② ［MO Initializer］ アイコンをダブルクリックします。

次のページへ続く

3

> MO Initializer【MO イニシャライザ】は、MOメディアの物理フォーマットを行います。
> 処理を開始する前に、動作中のアプリケーションを全て終了してください。
> 処理には、10分から20分程度かかります。
>
> はい

① 起動しているアプリケーションがあるときは、すべて終了させます。

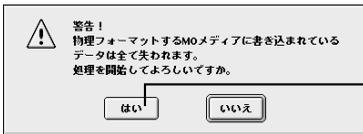
② ［はい］ボタンをクリックします。

「USB MOドライブが見つかりません」というメッセージが表示されたときは、MOUにMOディスクが挿入されているか確認してください。

4

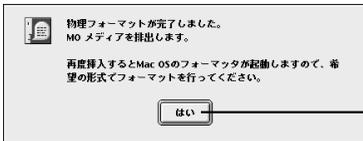
［実行］ボタンをクリックします。

［MOメディア情報］に何も表示されていないときは、MOUにMOディスクを挿入し、［再検索］ボタンをクリックしてください。

5

［はい］ボタンをクリックします。

物理フォーマットが始まります。

⚠注意 フォーマット中はマウスやキーボード、パワーボタン、リセットスイッチ、USBケーブル、ACアダプタを一切操作しないでください。

6

［はい］ボタンをクリックします。

MOディスクが自動的に排出されます。

7

8 **再度、MOディスクをMOUに挿入します。**

Macintosh付属のフォーマッタが起動します。

9 **P20の手順3に従ってフォーマットします。**

以上で物理フォーマットは完了です。

4
MOディスクのフォーマット

5 付録

MOディスク間のコピー（WindowsMe/98）

本製品付属の「MOコピー」を使用すれば、1台のMOドライブで、MOディスク間のコピーが簡単にできます。

- **MOコピーは、他のアプリケーション（エクスプローラなど）をすべて終了してから操作してください。**
- **誤ってコピー元のMOディスクを上書きしないよう、コピー元のMOディスクは書き込み禁止にしておくことをおすすめします。****【P15】**

制限事項

● コピーは同じ容量のMOディスク間でだけ行えます。コピー元とコピー先のMOディスクの容量が異なる場合はコピーできません。

例）・コピーできる
640MBのMOディスク→640MBのMOディスク
・コピーできない
230MBのMOディスク→640MBのMOディスク

メモ　Windows標準のディスクコピー機能は、MOディスク間のコピーには対応していません。

● ハードディスクドライブを経由してデータをコピーするため、コピーするMOディスクの容量以上の空き容量が1台のハードディスクに必要です。

● ファイルフォーマットがFAT16形式のMOディスクを使用している場合にだけ、高速でコピーできます。

● MOコピーの起動中は、エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見ないでください。
見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOコピーを終了し、再度エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見てください。

● 本製品以外でのMOコピーの使用は、弊社では保証しておりません。

コピー手順

1 **［スタート］－［プログラム(P)］－［MO ユーティリティ］－［MOコピー］を選択します。**

2

① コピーに使用するMOドライブ（MOU）を選択します。

② ［開始(S)］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

メモ パーシャルコピー機能について

［パーシャルコピー機能を使用する(P)］のチェックマーク（✓）を付けた状態（初期状態）で［開始(S)］ボタンをクリックすると、ファイルデータだけがコピーされます。そのため、コピーにかかる時間が短くなります。

チェックマークを外した場合、コピー元のMOディスク内にあるすべての情報がコピーされます。

> パーシャルコピー機能は、次のMOディスクをコピー元としたときに使用できます。
>
> ・本製品付属の「MOフォーマット」でFAT16形式フォーマットしたMOディスク
>
> 次のMOディスクをコピー元にした場合、パーシャルコピーはできませんので、チェックマークは外してください。
>
> ・「MOフォーマット」以外のフォーマッタでフォーマットされたMOディスク
> ・FAT16形式以外のフォーマット形式（FAT32やNTFSなど）のMOディスク
> ・Macintoshフォーマット（HFSなど）のMOディスク

3 コピー元のMOディスクをMOUにセットします。

4

MOコピー
MOのコピーを開始します。コピー元のMOディスクを挿入して、OKを押してください。
OK　キャンセル

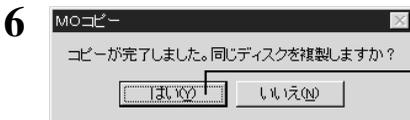
［OK］ボタンをクリックします。

5

コピー先ディスクを挿入して下さい。
キャンセル

コピー先のMOディスクをMOUにセットします。

自動的にMOディスクが検出され、ファイルがコピーされます。

6

同じ内容をさらに別のMOディスクにコピーするときは［はい(Y)］ボタンをクリックします。MOコピーを終了するときは［いいえ(N)］ボタンをクリックします。

以上でコピーは完了です。

5
付録

MO ディスク内のファイルの削除（WindowsMe/98）

**本製品付属の「ダストシュート」を使用すれば、MO ディスク内のファイルを完全に削除できます。
ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOS の Undelete コマンドでも復旧できないため、機密データの削除に最適です。**

メモ Windows上の操作で削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOSのUndeleteコマンドで復旧できることがあります。

制限事項

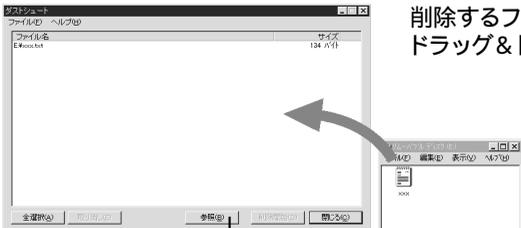
- ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOS の Undelete コマンドでは復旧できません。
必要なデータは絶対にダストシュートでは削除しないでください。
- ダストシュートはファイルフォーマットが FAT16/32 形式の MO ディスクの場合にだけ使用できます。
- フォルダを削除することはできません。
- ダストシュートで削除できるのは MO ディスク内のファイルだけです。
ハードディスクドライブなど他のメディア内のファイルは削除できません。
- ダストシュートによるデータの削除後もファイル名の痕跡だけは残ります。
ファイルの実体は残りません。
- 本製品以外でのダストシュートの使用は、弊社では保証しておりません。

削除手順

1 ［スタート］－［プログラム(P)］－［MO ユーティリティ］－［ダストシュート］を選択します。

デスクトップ画面上の［ダストシュート］アイコンをダブルクリックしても起動できます。

2 削除したいファイルの入った MO ディスクを MOU に挿入します。

3

削除するファイルをダストシュートの画面にドラッグ＆ドロップします。

［参照(B)］ボタンをクリックして、削除するファイルを選択することもできます。

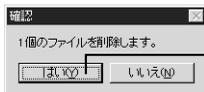
次のページへ続く

4

① 削除するファイルを選択して反転表示にします。

② [削除開始(D)] ボタンをクリックします。

複数のファイルを削除するときは、[全選択(A)] ボタンをクリックしてすべてのファイルを選択してから[削除開始(D)] ボタンをクリックします。また、<Shift>キーまたは<Ctrl>キーを押しながらマウスをクリックして、複数のファイルを選択することもできます。

5

[はい(Y)] ボタンをクリックします。

ファイルが削除されます。

6

さらに他のファイルを削除するときは [いいえ(N)] ボタンを、ダストシュートを終了するときは [はい(Y)] ボタンをクリックします。

以上でファイルの削除は完了です。

メモ 上記の手順以外にも、次の方法でダストシュートによるファイルの削除ができます。

※ 次の方法の場合、削除するファイルが下の方の階層にあると、同時に複数のファイルを削除できないことがあります。その場合は、複数回に分けてファイルを削除してください。

＜方法1＞

① エクスプローラや [マイ コンピュータ] でMOディスクの内容を表示し、削除したいファイルを右クリックします。

② 表示されたメニューから [送る(N)] − [ダストシュート] を選択します。

③ 「...個のファイルを削除します」と表示されたら、[はい(Y)] ボタンをクリックします。

④ 「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

＜方法2＞

① デスクトップ画面上の [ダストシュート] アイコンに、MOディスク内の削除したいファイルをドラッグ&ドロップします。

② 「...個のファイルを削除します」と表示されたら、[はい(Y)] ボタンをクリックします。

③ 「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

ユーティリティのアンインストール

MOU付属のユーティリティが不要になったときは、次の手順でアンインストールしてください。

Windows搭載パソコン

1 [スタート]－[プログラム(P)]－[MO ユーティリティ]－「アンインストール]の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

Macintosh

1 付属のCD-ROM「MOU-RHシリーズユーティリティCD」に収録されている[MOU-RHシリーズインストーラ]アイコンをダブルクリックします。

2 「処理を選択して下さい。」というメッセージが表示されたら、[アンインストール]ボタンをクリックします。

3 「アンインストール完了後に再起動しますがよろしいですか。」というメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

4 「アンインストールに成功しました。」というメッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動したら、アンインストールは完了です。

困ったときは

MOUが認識されない（ドライブアイコンが表示されない）

USBケーブルがMOUやパソコンに正しく接続されているか確認してください。

MOディスクに書き込めない

MOディスクのプロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。プロテクトノッチを書き込み許可の位置にしてください。

アクセス時に「ドライブの準備ができていません」というメッセージが表示される

MOディスクが正しくMOUに挿入されているか確認してください。
MOディスクの挿入後、アクセスランプが点灯している間はドライブは準備中です。アクセスランプが消えてから操作を行ってください。

MOディスクが取り出せない

パワーランプが消灯しているときは、イジェクトボタン／アクセスランプを押してもMOディスクは排出されません。
Macintoshの場合は、MacOS終了時に自動でMOディスクが排出されますが、機種によっては排出されないことがあります。「MOディスクが取り出せないとき」【P15】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。

空き容量はあるがMOディスクにファイルをコピーできない

FAT16形式でフォーマットされたMOディスクの場合、ルートディレクトリに記録できるファイルの数には上限があります（ロングファイル名のファイルがない場合に最大512個）。

そのため、MOディスクに空き容量があるにもかかわらずファイルがコピーできない場合は、ルートディレクトリにあるファイルを1つ削除してフォルダを作成してください。その後、そのフォルダ内にファイルをコピーしてください。

MacintoshでMOディスクをセットしてもすぐに排出される

メディアを入れたままのカードリーダー（弊社製MCRなど）と併用した場合、MOUに未フォーマットのMOディスクを挿入するとすぐに排出され、MOディスクをフォーマットできません。

カードリーダー内のメディアを取り出してからフォーマットしてください。

特定のソフトウェアでMOUが使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合はパソコンに標準搭載のドライブ（ハードディスクなど）を使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください

製品仕様

<table>
<tr><th colspan="2">製品型番</th><th colspan="4">MOU-640RH</th></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td colspan="4">USB</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td colspan="4">USB Specification Rev1.1</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td colspan="4">・PC ポート（USBコネクタ シリーズB）
・HUBポート（USBコネクタ シリーズA）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスク</td><td colspan="4">3.5型光磁気ディスクカートリッジ
（ISO規格準拠）</td></tr>
<tr><td colspan="2">記憶容量</td><td>128MB</td><td>230MB</td><td>540MB</td><td>640MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">セクタ容量</td><td colspan="3">512byte</td><td>2048byte</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイレクトオーバーライト方式</td><td colspan="4">対応（オーバーライト対応MOディスク使用時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">回転数</td><td colspan="4">3600rpm</td></tr>
<tr><td colspan="2">平均回転待ち時間</td><td colspan="4">8.3msec</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大転送速度</td><td colspan="4">12Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッファメモリ容量</td><td colspan="4">2MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="4">37(W)×122(H)×172(D)mm（突起物含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大消費電力</td><td colspan="4">12.5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力
（ランダムリード／ライト時）</td><td colspan="4">8.5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="4">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td colspan="4">5～35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td colspan="4">20～80%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応機種</td><td colspan="4">USBコネクタを標準搭載する次のパソコン
・DOS/V機 (OADG仕様)
・NEC製 PC98-NXシリーズ
・Apple製 Power Mac G4シリーズ
・Apple製 Power Mac G4 Cube
・Apple製 Power Macintosh G3シリーズ
・Apple製 Power Book G3シリーズ
・Apple製 iMacシリーズ、iBookシリーズ
および弊社製USBボード（別売）を搭載した
DOS/V機(OADG仕様)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応OS</td><td>DOS/V機
PC98-NXシリーズ</td><td colspan="4">WindowsMe、Windows98、
Windows98 Second Edition、 Windows2000</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td colspan="4">Mac OS8.5.1以降</td></tr>
</table>

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）をご参照ください。

■保証書について
本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について
ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について
製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスク内のデータは検査の際に削除いたします。またドライブユニットが故障の場合、同等のドライブユニットと交換させていただきます。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

本製品について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・ 本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・ 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

MOU-640RH ユーザーズマニュアル

2001年1月26日 第2版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）